

該当学年	授 業 科 目 名	担 当 教 員	
2年AB	幼児と身体表現	高橋 人美	
サブタイトル	創造力豊かな表現力と身体運動の実践	単 位 数	1
授業形態	演習		
開講時期	前期	出席要件	4 / 5 以上
到 達 目 標			
1. 幼児の感性と身体表現について理解を深める。 2. 体育Ⅰ・Ⅱで学習した基礎をもとに、身体表現を生成する過程を学び、動きづくりから作品完成、発表会までのプロセスを理解する。 3. 動きづくりの技術と身体表現方法を学び、豊かな表現力と身体運動を身につける。 4. 協働して身体表現をすることを通し、個々の役割を認識し、互いに協力し合う関係を構築して豊かな人間性を培う。			
ディプロマ・ポリシー（専門士授与の方針）との関連			
「保育に関する基礎的な知識や保育技能を修得し、保育の場に応用して発揮できる」、「仲間との学びを通じ、他者の意見や考え方を尊重し、相互の信頼関係を築きながら目的の遂行に向けて協力して取り組むことができる」ことを目指す科目である。 表現技能・創造する力の修得を目指す。			
授 業 の 方 法			
1. 1年次の身体表現基礎知識の学習を基に創作舞踊作品づくりに取り組む。 2. グループワークの活用で、自己表現と他者からの学びを共有する。 3. 振り返りシートを活用する。			
テキスト・教材・参考図書			
必要に応じて資料を配布する。 保育所保育指針 厚生労働省 平成29年告知 幼稚園教育要領 文部科学省 平成29年告知 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 内閣府・文部科学省・厚生労働省 平成29年告知			
評 価 の 要 点		総合評価割合	
1. 創作舞踊作品の完成度(協働学習での主体的かつ責任感のある態度) 2. 実技試験(個人とグループ評価) 3. 課題レポート(振り返りシート) 4. 創作ファイルノート(個人とグループ評価)		授業内実技試験 50% 発表会 30% レポート・ノート 20%	
履修上の注意事項や学習上の助言など			
1. 保育表現研究発表会には全員が出演する。 2. 創作ファイルノートは、毎時間の授業内容を記録する。 3. 課題レポート(振り返りシート、創作ファイルノート等)は提出期限を厳守する。 4. 授業に関する注意事項を必ず守り受講する。			

授業回数別教育内容		身につく資質・能力
1回	ガイダンス ・授業の目的・内容の説明と受講上の注意事項について ・保育表現研究発表会までの流れを理解する	活動への意欲 協力する姿勢
2回	創作舞踊作品づくり (1) ・テーマに合った構想と構成の確認する ・モチーフの確認 (運動の三要素) と舞踊構成 2分	運動三要素の確認 個々の役割の責任感
3回	創作舞踊作品づくり (2) ・舞台の空間構成 (群構成と舞台の9分割) を意識する ・衣装図案の提出	舞台空間の認識 個々の表現能力の習得
4回	創作舞踊作品づくり (3) ・舞台上の群構成、人数変化を見直し完成をめざす	舞台の活用法 協働学習能力の習得
5回	・創作舞踊作品づくり (4) ・高低感やリズムの変化等、コントラストの動きを加え 創造的な作品にする ・衣装決定	身体表現力 協働学習能力の習得 衣装選択の知識
6回	第1回中間発表 *試験課題 ・作品の強調部分を明確にする ・作品をビデオに撮り、動きの確認と修正	身体表現力 協働学習能力の習得
7回	創作舞踊作品づくり (5) ・作品の細部まで動きの統一をする ・グループ内で互いに指導しあい、完成度を高める	身体表現力 協働学習能力の習得
8回	創作舞踊作品づくり (6) ・動きの確認を行い動きの完成に近づける ・音の完成 ・個人の記録ノートとグループの記録ノート提出	音楽編集の知識 活動記録の記入方法
9回	第2回中間発表 (完成作品発表) *試験課題 ・音、衣裳、髪型を整え本番同様実施する ・ビデオを通して動きの確認	洗練された表現力 舞踊技術の習得
10回	創作舞踊の踊り込み (1) ・本番同様に実施する ・ビデオを通して動きの確認 ・舞台照明の説明と照明調書の記入	舞台照明の理解 集団美の理解
11回	創作舞踊の踊り込み (2) ・本番同様に実施し、鍛錬された身体で表現する ・リハーサルの諸注意	集中力・団結力 集団美の理解
12回	保育表現研究発表会のリハーサル *試験課題 ・安全に気をつけて、発表会同様に踊る ・総合調書・照明調書の再度確認	舞台構造の習得 舞台マナー
13回	保育表現研究発表会 *試験課題 ・授業の成果を舞台上で最善を尽くして表現する ・他の作品を鑑賞し、互いに評価する	感謝の気持ち 満足感、達成感
14回	まとめ ・保育表現研究発表会を終えての振り返り ・創作ファイル(各係のまとめ)のまとめと提出 ・保育者としての視点で授業を振り返る	自己評価 課題の明確化
試験	評価の要点に基づき授業内で実施する	